

コウノトリの見守りについて

コウノトリを関東の空へ“試験放鳥”します。

(試験放鳥日：平成27年7月23日)

関東地域における国の特別天然記念物であるコウノトリの野生復帰に向けた検証を行うため、野田市生まれの3羽の幼鳥を野外へ試験放鳥します。

お 願 い

野田市では、放鳥したコウノトリの見守りルールをつくり、みんなで見守っていきたいと考えていますので、ぜひ見守り活動に参加協力をお願いします。



コウノトリ (Oriental White Stork) は、こんな鳥

【コウノトリの特徴】

大きさ：立っている時の高さは約1m。つばさを上げると約2mもあります。

体 重：約4～5kg

体の色：つばさの色は白と黒、足と目のまわりが赤色、黒くて長いくちばしをもっています。

鳴き声：大人のコウノトリは鳴きません。警戒した時などに、くちばしをカタカタとたたき合わせる「クラッタリング」を行います。

食べ物：ドジョウ、フナ、ナマズなどの魚類、カエル、アメリカザリガニ、ヘビ、バッタ、トンボなど、田んぼや水路、河川、湿地などの水辺や周辺の草地にいる生きものを食べる、肉食の鳥です。1日に500g（中位のドジョウ約63匹に相当）位食べます。

見分け方：白くて大きな鳥として、サギの仲間と間違えられることがありますが、アオサギよりも一回り大きく、飛ぶ時は首も足も伸ばして飛びます。

見られる場所：田んぼ、用水路、河川などの水深の浅い水辺や草地で採餌し、木や電柱・建物の上などで休みます。



コウノトリが飛んでいる様子



コウノトリが歩いている様子



コウノトリをやさしく見守ろう

【コウノトリの見守りルール】

- コウノトリを見かけたら、追い回したり、脅かしたりせず、静かに見守ってください。
- コウノトリを観察する時は、150mくらい離れて静かに観察してください。
- 放鳥したコウノトリは野生動物です。無事に暮らしていけるよう見守りをお願いします。
- コウノトリに餌を与えないでください。
- コウノトリは他の鳥類とも共存する鳥です。他の動物も一緒に見守ってください。
- 田んぼの中や個人の敷地内に無断で入らないでください。
- 長時間に多くのカメラを向けた撮影、ストロボ撮影については、人から受けるストレスにより採餌行動に影響がでることがありますので、遠慮ください。
- 田んぼ等で作業中にコウノトリが近くにいても特別な配慮は必要ありません。普段どおりの作業を行うことで、コウノトリと共生する地域づくりを進めましょう。

※コウノトリは、水辺近くの人里に定着する穏やかな鳥です。人に危害を加えた事例は報告されておりません。

コウノトリが弱っている、ケガをしている場合には、野田市で保護をしますので連絡をお願いします。（コウノトリの治療は、地元の獣医師の協力で行います。）

コウノトリの見学や写真撮影のために、心ない行動をとる方を見かけましたら、野田市へ通報をお願いします。



連絡先

野田市みどりと水のまちづくり課

〒278-8550

野田市鶴奉 7-1

☎04-7123-1195